

ヒントかるた

< 進め方 >

- 1 4～6人のグループを作ります。
- 2 かるたの絵札を表にして机または床の上に並べます。
- 3 教師はその絵を説明するヒントを読み上げます。
- 4 児童はそれらのヒントを聞き終えたあとで、その絵を表す語を発音し、そのカードを取ります。
- 5 カードを多く取った児童が勝ちとなります。



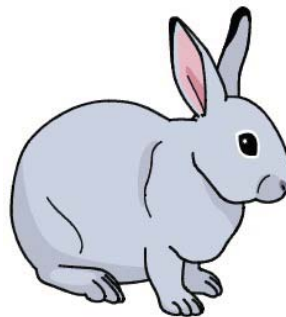
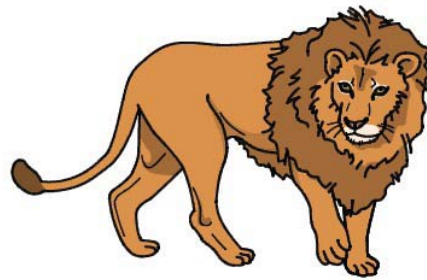
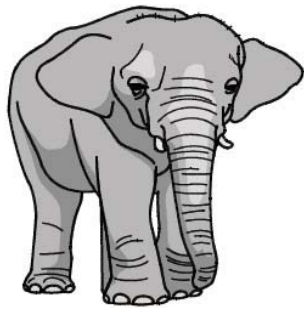
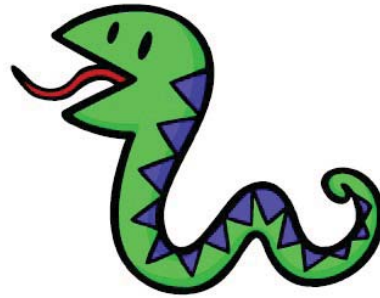
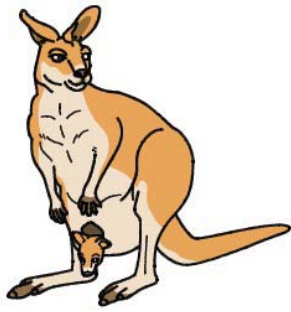
< ここがポイント >

- 「かるた取り」というと教師が読み上げた英単語の絵カードを取るのが一般的ですが、カードに関するヒントを与え、考えさせることで、活動はより高度なものになります。
- ヒントの英文の中には、児童にとって分からない単語もあるので、ジェスチャーを入れながら読み上げるとよいでしょう。
- 動物編ばかりでなく、スポーツ編、果物編、国名編等でもできます。ヒントの英文はALTの先生と協力しながら考えるとよいでしょう。
- 「かるた取り」ではなく、ビンゴ形式で行うことも可能です。

動物の絵カードをビンゴシートに自由に張り、児童はどの動物の説明なのかを聞き、1列もしくは2列そろったら勝ちとします。

(例・・・動物編)

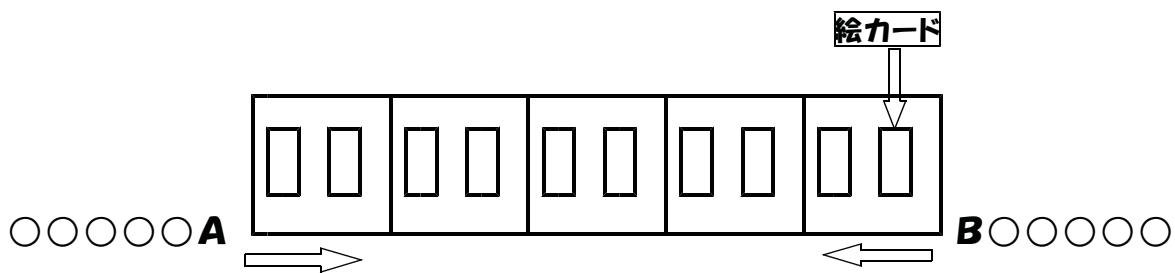
読み上げる英文	答え
<p>This animal is cute.(この動物はかわいいです)</p> <p>It has long ears.(長い耳をしています)</p>	<p>rabbit</p> <p>(うさぎ)</p>
<p>This is a sea animal. (海の動物です)</p> <p>It has eight long arms. (長い8本の腕があります)</p>	<p>octopus</p> <p>(たこ)</p>
<p>This is a big animal. (大きい動物です)</p> <p>It has a long nose.(長い鼻をしています)</p>	<p>elephant</p> <p>(象)</p>
<p>This is a tall animal.(背の高い動物です)</p> <p>It has a brown and yellow body with a long neck.</p> <p>(首が長く、茶色と黄色の体をしています)</p>	<p>giraffe</p> <p>(キリン)</p>
<p>This is a cute animal.(かわいい動物です)</p> <p>It lives in Australia.(オーストラリアに住んでいます)</p>	<p>koala</p> <p>(コアラ)</p>
<p>The color of this animal is black and white.(色は黒と白です)</p> <p>It lives in China. (中国に住んでいます)</p>	<p>panda</p> <p>(パンダ)</p>
<p>This is a strong animal.(強い動物です)</p> <p>It is called the king of the jungle.</p> <p>(ジャングルの王と呼ばれています)</p>	<p>lion</p> <p>(ライオン)</p>
<p>This animal has a pocket.(この動物はポケットがあります)</p> <p>It likes boxing very much. (ボクシングが大好きです)</p>	<p>kangaroo</p> <p>(カンガルー)</p>
<p>This animal is long.(この動物は長いです)</p> <p>It has no arms and legs. (腕も足もありません)</p>	<p>snake</p> <p>(ヘビ)</p>
<p>This is a big animal.(大きな動物です)</p> <p>It lives in the ocean. (海に住んでいます)</p>	<p>whale</p> <p>(鯨)</p>



陣取りゲーム

<進め方>

- 1 児童の机を長く一列に並べ、机の上に絵カードを一列に並べます。
- 2 児童を5～6人のグループに分け、AチームとBチームに分けます。それぞれのチームを長い列の両端に一列に並ばせます。
- 3 絵カードをタッチして発音しながら相手チームに進んでいきます。
- 4 中央でそれぞれの児童が出会ったら、“Rock, scissors, paper, one, two, three.”と言って、じゃんけんをします。
- 5 じゃんけんに勝てば、さらに相手チームを目指して進みます。負ければ自分の列の最後尾に戻り、次の児童が進んでいきます。
- 6 どちらか一方のチームが相手チームの端に着けば、勝ちとなります。



<ここがポイント>

- とても盛り上がる活動です。始める前に、練習タイムを設定しグループで、言い方がわからないものを教え合ったり、言い方を練習したりして、友達と協力しながら英語に慣れていくことができます。

インタビューゲーム

<進め方>

A: "Do you like ~?"

B: "Yes, I do./ No, I don't."

<使用する教材>

・10枚の絵カード

(児童分)

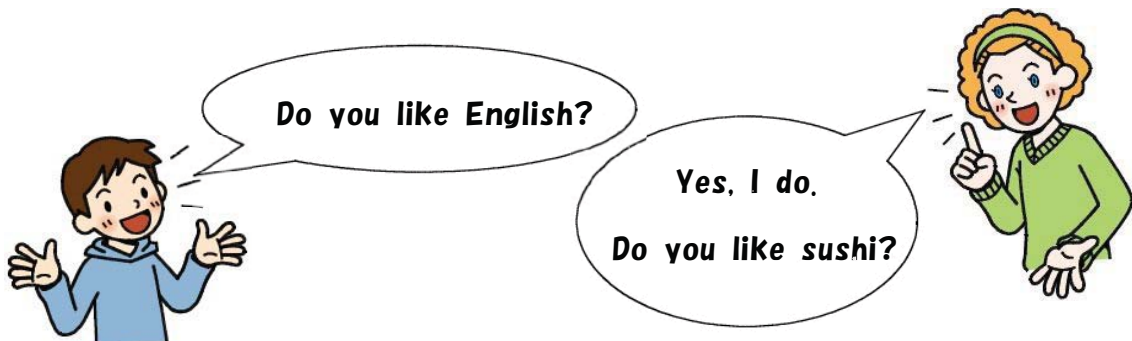
・インタビューシート

1 児童は、10枚の絵カードをインタビューシートの空欄の好きなところに張ります。

2 インタビューする友達を見つけ、

"Do you like ~?" と質問をします。児童の答えがYesであれば実線へ、Noであれば点線へと進んでいきます。

3 A~Hの欄すべてに友達や先生、ALTの名前を記入したら終了です。



<ここがポイント>

- インタビューシートはフローチャート式になっており、一問一答の対話で終わらないようになっています。同じ相手に最低でも4回質問したり答えたりすることで、基本的な表現に慣れ親しむことができます。
- 絵カードを変えることで、表現を "Do you like ~" から "Do you have (play, eat, go to等) ~?" に発展させることができます。また "Can you ~" という表現に変化させることも可能です。

インタビューシート

Name _____

Yes→ _____

No →

